

「新幹線」が来れば
長崎は本当に
よくなるの？

バラ色に描きすぎではないですか？

今なぜ「新幹線」ですか？ 買い物客の県外流出は？ 暮らしはどうなる？

実験中 フリーゲージトレイン

西日本(右)と朝日(左)の報道



在来線(狭軌)と新幹線(広軌)の相互乗り入れとスピードアップのため、車軸幅を調整できるフリーゲージトレインを走らせる計画です。

まだ実験中で、「高速走行で台車振動」「フリーゲージ開発難航」(西日本07/6/25)、「高速やカーブに壁」「夢の列車実用険し」(朝日08/2/24)と指摘されるほど、高速時の不安定さや脱線の危険性を解決できていない危うさをもっています。

県の借金1兆円超！

長崎県は借金が1兆円を超えており、昨年、数年後に財政破綻の危険性があると発表。

3年間で88億円の財源不足を解消するために、高齢者の福祉、医療、教育予算などがバツサリと削られます。

県立高校6校は次々と廃止に。高齢者配食サービスや母子家庭の入学祝い、女性医療相談事業なども廃止になります。

一方08年度は、諫早干拓事業94億円、新幹線2億円、西彼道路46億円を支出します。

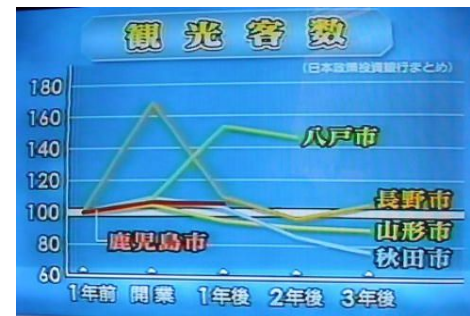
「新幹線」など、不要不急な公共事業のために、県民の暮らしの予算が削られているのが実態ではないでしょうか。

不要不急な公共事業のため暮らしの予算削減

県民の声を聞くべきです。

光客が減少しています(下図・日本政策銀行南九州支店調査)。
長崎「新幹線」建設は中止して、計画の真の姿を県民に知らせ、

金子知事は「県外から」人を呼び込むためには新幹線が必要」と言っています。が、そうでしょうか。
「時間短縮の効果が少ない」、「運賃は高くなる」、「福岡へ買い物客が流れる(ストロー化現象)」と指摘する声も少なくありません。
すでに新幹線が開業している山形市や秋田市では、新幹線が開通して以降、観光客が減少しています(下図・日本政策銀行南九州支店調査)。



新幹線開業後3年の観光客の動向
日本政策銀行調査(06/11/24NHK)

山形、秋田 新幹線開通後、観光客が減少